

第49回 光波センシング技術研究会講演会 論文募集案内

主催 応用物理学会・光波センシング技術研究会
協賛 電子情報通信学会、電気学会、情報処理学会、精密工学会、映像情報メディア学会、日本光学会(応用物理学会)、計測自動制御学会・センシングフォトニクス部会、日本オプトメカトロニクス協会、IEEE OES (Ocean Engineering Society) Japan Chapter
応募締切 2012年 3月 21日(水)【必着】
開催日 2012年 6月 5日(火)～6日(水)
会場 東京理科大学 神楽坂校舎 森戸記念館
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4丁目2-2 (TEL:03-5225-1033)

趣旨と内容

「極限に挑む光波センシング」 —基礎に立ち返って—

本研究会は1988年に応用物理学会の研究会として発足し、光波センシングの基礎、応用、実用化を中心とした光工学技術の発展を目指し活動を行ってきました。第49回研究会では「極限に挑む光波センシング」をテーマに取り上げます。

本研究会の主な目的の1つは、光波センシング技術をいかに社会に役立てるかということです。学界と産業界が協力してこの研究会を推進してきたことにより多数の応用技術が育まれてきましたが、これまでの研究会は応用を主眼とするテーマに偏していたかもしれません。一方でこの分野を発展させていくためには、これまでなかったような新しいセンシングや計測の技術の誕生が強く望まれます。そのためには、常に基礎に立ち返りながら限界に挑戦していく姿勢が重要と考えます。そこで第49回研究会では、極限技術としての光波センシングに焦点を当てたいと思います。距離、形状、時間、周波数、スペクトル、光量などの様々な測定対象やデバイスに対して、多様な招待講演を企画しております。精度、ダイナミックレンジなどの極限追求について考えることによって、新しい分野の創出につながればと期待しています。

一般講演論文は上記趣旨に関連する技術の話題のみならず、光波センシングの広い分野から募集いたしますので、奮ってご投稿くださるようご案内申し上げます。

募集論文の性格：未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報等は差し支えございません。

講演形式・時間：一般発表講演形式で質疑応答を含めて25分の予定。

応募方法：論文のアブストラクトを下記の事務局までE-mailにてお送り下さい。
アブストラクトはA4版1頁(PDF及びMS WORD)で、書式は自由です。
演題、発表者、共著者、連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)を明記願います。

応募締切：2012年3月21日(水)【必着】

論文審査：アブストラクトの内容を本研究会のプログラム委員会で審査します。

論文原稿締切：2012年5月7日(月)【必着】
A4版6～8頁のPDF及びMS WORDの原稿をE-mailでお送り下さい。

参加費用：11,000円(参加費：5,000円、論文集代：6,000円)ただし予約割引料金です。

研究会事務局：光波センシング技術研究会(LST)事務局 佐々木 豊
(問合先/送付先) 〒184-0005 東京都小金井市桜町1-10-32
TEL/FAX:042-381-0446 E-mail:lstsapjpn@gmail.com
URL:<http://annex.jsap.or.jp/kohasensing/>